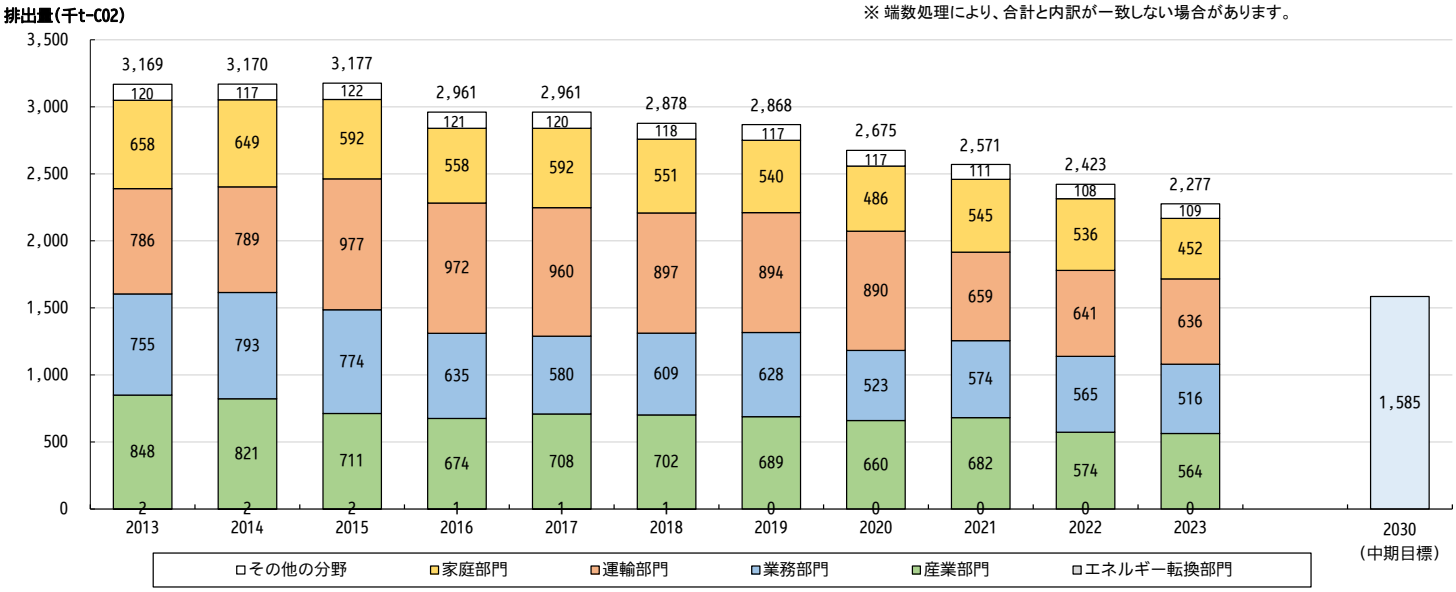
【重点項目】１－１　地球温暖化対策の推進　実績報告

1　温室効果ガス排出量の削減目標

目標年度		基準年度	削減目標
中期目標	2030年度	2013年度 （3,169 千t-CO2）	50% （1,585 千t-CO2）
長期目標	2050年度		100% ※実質ゼロ

※郡山市気候変動総合戦略に定める目標

2　令和5（2023）年度の実績



3　分析と対策について

◆2023年度温室効果ガス排出量は、基準年度（2013年度）比で約28.1%削減、前年度2022年度比で約6.0%削減しました。

◆排出量削減の主な要因

〇家庭部門…部門全体における軽質油及び電力由来の排出量の削減
　軽質油：現状値　77 千t-C02　（2013年度比　- 53 千t-C02　約40.9%減）
　電　力：現状値 330 千t-C02　（2013年度比　-135 千t-C02　約29.0%減）

〇運輸部門…自動車（主に貨物車）由来の排出量の削減
　現状値 631 千t-C02　（2013年度比　-147 千t-C02　約18.9%減）

〇業務部門…部門全体における電力由来の排出量の削減
　現状値 377 千t-C02　（2013年度比　-130 千t-C02　約25.7%減）

〇産業部門…製造業における石炭、石油ガス等由来の排出量の削減
　現状値 487 千t-C02　（2013年度比　-306 千t-C02　約38.6%減）

◆現状と今後の対策

　郡山市における温室効果ガス排出量は、すべての部門において基準年度よりも下回っています。特に、家庭部門、業務部門及び産業部門においては、約31～34%の削減が見られ、市民及び市内企業等へ向けた省エネの啓発効果が表れていると推測されます。

　しかしながら、家庭部門及び運輸部門の削減率については、国の2030年度削減目標の約半分であることから、太陽光発電を初めとした再生可能エネルギー設備や、燃料電池自動車等の次世代自動車の導入促進に積極的に取り組んでまいります。

・家庭部門：現状値 31.3%削減（2030年度目標値 66.0%削減）
・運輸部門：現状値 19.0%削減（2030年度目標値 35.0%削減）